

緊急時モニタリング計画に反映する内容について

1 見直しの概要

(1) 実施体制の見直し

これまで道府県が中心となり実施してきた緊急時モニタリングは、国が統括し、実施方針の策定、緊急時モニタリング実施計画及び動員計画の作成、実施の指示及び総合調整、データの収集と公表、結果の評価並びに事態の進展に応じた実施計画の改定等を行うほか、海域や空域等の広域モニタリングを実施することとされた。

(2) 組織体制等

本県の実情を踏まえ、以下のとおり組織体制、要員及び参画機関等を整理する。

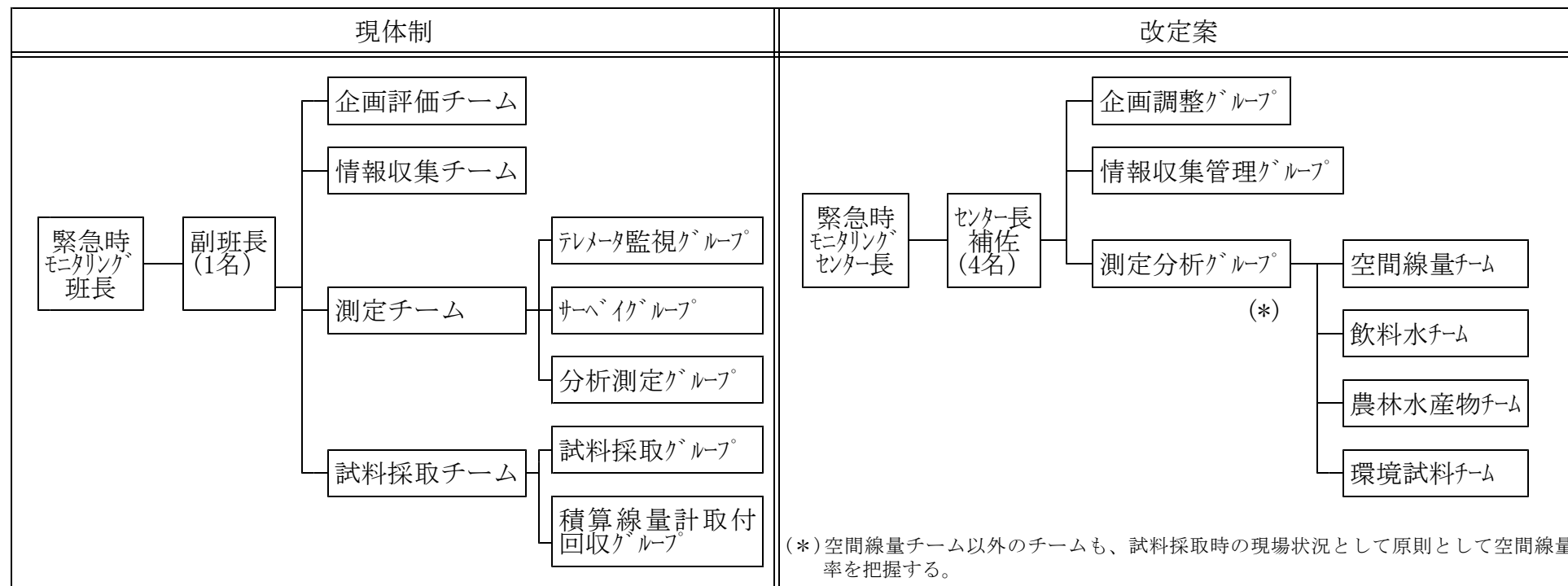
	現在	見直し概要 (案)
組織	モニタリング班 (県の現地本部) ・長は原子力センター所長 ・福島第一、第二とも対象	緊急時モニタリングセンター ・長は原子力規制庁職員 (国) ・福島第一、第二にそれぞれ設置
体制	全要員が原子力センターに参集、班編成し活動	・参集は、企画・通信・評価等の要員のみ。(要員指定、参集対象) ・測定、採取については、あらかじめ指定された機関が実施。 (例) 飲料水や農畜産物等は庁内の関係部が実施。また、市町村には、管内の線量測定、試料採取等を依頼。
モニタリングに係る計画	○緊急時モニタリング計画 原子力安全委員会が定めた指針に基づき、県が緊急時モニタリング計画を策定する。	○緊急時モニタリング計画 県が国、事業者及び関係指定公共機関と協力してあらかじめ定める計画 ○緊急時モニタリング実施計画 国が緊急時モニタリング計画を参照し、緊急時に直ちに策定する計画 ○初動対応、動員計画 国があらかじめ定める
要員 (参画機関)	・県 (部内環境共生、環境保全、相双振興局、重点地域内の県出先機関) ・重点地域 6 町 ・国 (文科省、経産省など) ・東電 (計 1 2 3 名)	・県 (各部局、各部出先機関)  ・暫定重点区域 1 3 市町村 ・国、指定公共機関 (JAEA 等)、 ・東京電力、他電力
分析機関	原子力センター	原子力センター 衛生研究所、食肉衛生検査所、農業総合センター等
業務開始	10 条通報で活動開始	警戒事象で活動開始
通信連絡系統	防災行政無線による連絡体制	(衛星) 携帯電話を併用
調査企画立案	企画評価チーム (県、市町村など)	企画調整グループ (国、指定公共機関、県など)

	現在	見直し概要 (案)
測定対象	空間線量率、積算線量(長・短期)、 大気ダスト、飲料水、水道原水、 原乳、葉菜、土壌等	左記に加え、In-situ(Ge、NaI)、 走行サーベイ、可搬MP、短半減期 核種、TRU核種等を実施、葉菜を農 畜産物に拡大
測定地点 (空間線量)	10km範囲、104地点を選定	暫定重点区域(13市町村、概ね 30km)、空間線量は避難単位で 地点選定
試料採取地点	同上	暫定重点区域(水道水は浄水場単 位、原乳は酪農家単位、他の農産 物は旧市町村単位)
放射線 レベル調査	全地方振興局、県内13地点	全市町村で地点を設定 地方振興局はダストを追加
データ公表	OFC放射線班で集約	緊急時モニタリングセンター集約 OFCで速報公表

## 2 緊急時モニタリングセンターについて（案）

現体制に対し、新たに設置するグループについては、「企画調整グループ」は現行の企画評価チーム、「情報収集管理グループ」については現行の情報収集チームの業務を引継ぐものとする。

また、「測定分析グループ」については、現体制の測定チームと試料採取チームを併せて再編し、原子力災害後の本県におけるモニタリング実施体制を踏まえ、「空間線量チーム」、「飲料水チーム」、「農林水産物チーム」及び「環境試料チーム」の4チームで構成されるものとする。



### (\*)測定分析グループの構成

空間線量チーム	国、指定公共機関、県（総務部、生活環境部（部内関係課室、出先機関）、事業者、市町村
飲料水チーム	国、指定公共機関、県（保健福祉部（食品生活衛生課、保健福祉事務所、衛生研究所、食肉衛生検査所）、事業者、市町村
農林水産物チーム	国、指定公共機関、県（農林水産部（環境保全農業課、部内関係課、農林事務所、家畜保健衛生所、農業総合センター）、事業者、市町村
環境試料チーム	国、指定公共機関、県（総務部、生活環境部（部内関係課室、出先機関）、事業者、市町村

### 3 緊急時モニタリングセンター各グループ、チームの役割分担（案）

現体制		改定案	
グループ、チーム名	機能	グループ、チーム名	機能
企画評価グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放出源情報の確認</li> <li>・気象情報の収集</li> <li>・緊急時環境放射線モニタリング実施計画の策定</li> <li>・緊急時環境放射線モニタリング結果の評価解析</li> <li>・SPEEDIネットワークシステムによる予測情報の収集</li> <li>・放射線量率の予測地図の作成</li> <li>・予測線量評価</li> </ul>	企画調整グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放出源情報の確認</li> <li>・気象情報の収集</li> <li>・緊急時環境放射線モニタリング実施計画の策定</li> <li>・緊急時環境放射線モニタリング結果の評価解析</li> <li>・SPEEDIネットワークシステムによる予測情報の収集</li> <li>・放射線量率の予測地図の作成</li> <li>・予測線量評価</li> <li>・緊急時モニタリング実施計画改定案の策定</li> <li>・<u>モニタリングの調整</u></li> </ul>
情報収集チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時環境放射線モニタリング結果の集計整理</li> <li>・緊急時環境放射線モニタリングに関する情報の収集及び連絡</li> </ul>	情報収集管理グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関のモニタリング結果の妥当性確認ととりまとめ</li> <li>・結果をERC放射線班に送付</li> <li>・結果をOFCで公表（速報値）</li> </ul>
測定チーム		分析測定グループ	
テレメータ監視グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングポストによる監視</li> <li>・ダストモニタによる監視</li> <li>・気象観測装置による観測</li> <li>・移動測定車による監視</li> </ul>	空間線量チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングポストによる監視</li> <li>・ダストモニタによる監視</li> <li>・気象観測装置による観測</li> <li>・移動測定車による監視</li> </ul>
サーベイグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間線量率の測定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空間線量率の測定</li> <li>・積算線量計等による測定</li> </ul>
分析測定グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算線量計等による積算線量の測定</li> <li>・環境試料中の放射性核種分析</li> </ul>	飲料水チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水等の採取及び分析（採取地点における空間線量率の測定を含む）</li> </ul>
試料採取チーム		農林水産物チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産物の採取及び分析（採取地点における空間線量率の測定を含む）</li> </ul>
試料採取グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気中のヨウ素採取</li> <li>・環境試料の採取</li> </ul>	環境試料チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道水等及び農林水産物以外の環境試料（土壌、大気、降下物等）の採取及び分析</li> </ul>
積算線量計取付回収グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算線量計等の取付回収</li> </ul>		